

敏馬の浦に過る時に、山部宿禰赤人の作る歌
一首 并せて短歌

九四六番

御食向かふ 淡路の島に 直向かふ 敏馬の浦の
沖辺には 深海松採り 浦廻には なのりそ刈る
深海松の 見まく欲しけど なのりその 己が名
惜しみ 間使ひも 遣らずて我は 生けりともな
し

反歌一首

九四七番

須磨の海人の 塩焼き衣の なれなばか 一日も
君を 忘れて思はむ